

業務名称	第2回東御市環境市民会議		東御市
打合場所	東御市 東部クリーンセンター 2階会議室	打合日時	平成27年10月28日 13:30～15:15
■議事録			
出席者	運営委員	宮原会長、森勝副会長、柳沢運営委員、後藤委員、重田運営委員、佐藤運営委員、森まり子運営委員、山崎運営委員、池田運営委員、別府運営委員	
	事務局	土屋市民生活部長、塚田生活環境課長、中山主査、赤川主任	
	日環工	技術：新井、田湯	
主 題	協 議 事 項		
平成27年度 東御市環境市民会議	<p>1. 開会の言葉 (全体進行：塚田課長) 森副会長による開会の言葉</p> <p>2. あいさつ 宮原会長によるあいさつ</p> <p>3. 会議次第の提示 塚田課長から宮原会長への会議次第の提示</p> <p>4. 会議事項 第2次東御市環境基本計画について（生活環境係：赤川主任） 下記の概要についての内容説明 第2次東御市環境基本計画について（生活環境係：赤川主任） 新エネルギーについての説明（技術：新井）</p> <p>5. 閉会の言葉 森副会長による閉会の言葉</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 第2次東御市環境基本計画について</p> <p>○表を見たとき最初分からなかった。中部電力の水力発電所ということだが、長野県全体の物なのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東御市で考えているので市内にある2ヶ所の発電所を対象にしてデータを推計している。 <p>○表中の②～④が何なのか全くわからなかった。市のソーラーパネルの事を書いているだけか分からない</p> <p>○ここ数年の伸び率について考察しているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年急激にソーラーパネルが採用されており、それらをそのまま推移するとんでもない数字になり、同じ数で増えるとは考えにくいので、一般家庭だと100～200件ずつの増加率になっている。この先もその程度はあるだろうと戸数を入れる形にしている。 ・コンサルタントと相談して説明書きを加えることを検討する。 <p>○その他の再生エネルギーについては記載しない？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力自由化について大まかに説明されているが、先行き不透明なのでこちらも書き 		

業務名称	第2回東御市環境市民会議		東御市
打合場所	東御市 東部クリーンセンター 2階会議室	打合日時	平成27年10月28日 13:30～15:15

■議事録

込むか検討する。今確実に分かるものを記載した。5年ごとに中期目標があってそのたびに変わっていくので、数値の変更をしていく。東御市で自給自足をしていけと言われていたが、今の国の動向を見ていると賭け事はできないので手堅い見込みにさせてもらっている。

・今回の計画は実現可能な部分（市民全員で地区を守っていこうとする部分）を前面に出している。後に出るだろうが施設研修の話があったように、市としてもひと・まち・しごと総合プラン、地域づくりを進めている。総合計画が市の中心だが、地域計画を進めていると、それぞれ地区の考えが出てくるので、総合計画とドッキングしていく。この基本計画も同じなので、あまり縛ってしまうと今後の国の交付金もあるのでここだけは守ろうとすると独自にどう考えるかということになる。例えば消費電力で人口減を目標にしたらどうかということが透けて見えてくるが、一応現状維持している。結果として数値を出していく場合、一人一人の省エネ活動と人口減は数値で固めるのは大変。複雑な計画になってしまうかもしれないが、いろいろな計画の中で約束はできないが環境白書のような形で実績や数値を市民の皆様に見て頂いて環境政策をしたい。

○エネルギー自給率は自治体の定義がそれぞれあってどこの市を参考にするか考えたが、福島市を選んだ。P57の分母は電力消費量ということでこちらは省エネをすれば減るし、分子が作った省エネということで、両方頑張ってエネルギー自給率を上げていけるという思いが込められている。

○とても大事な言葉だと思うので、付け加えてもらいたい。ここで出た質問は注釈で噛み砕いて出していただかないと一部の作った人しかわからないものになる。とにかくわかりやすく丁寧に。説明があるとありがたい。

○表にある②市の部分は公共施設の所にソーラーパネルを置いている。③市民は家屋に置いている。④事業者は斜面などに置いてあるということをそれぞれ明記してほしい。

○1-13 環境施策の②林業を専門にやる人たちの後継者を育てるということだと思うが③の地域で森を守るところの里山で通じていくという事だろうが、ボランティア等による～や市有林、26年度の奈良原市有林における森林体験の実施とあるが、4-2を見ても具体的な案が無い。我々も重要なものだとして必死にやっており、市の皆様もこれからやろうということだがもう少しボランティア、市民の人たちに市有林への意識を明確に打ち出して欲しい。11-13に⑤環境教育、ひとをはぐくみ～とあるが、特に自然体験を子供たちに体験してもらう場所や施設といった具体的な案が欲しい。幼稚園などで体験してもらう活動もしているが、人材不足や我々の歳を考えると若い人（リーダー）に要請をして活動の構築をしていきたい。

・子育て、教育に係るので、学校とも連携していく。

○市有林を心に病を持っている人や高齢者、障害者の人々も使えるような誰にでも使える場所にしたい。特に癒し的な感覚の森にしたい。こういうことの専門家、プロがいると思うので、そういう人たちと考えながらどういう森をつくっていく。学校だけでなくNPOの人にも体験できるそういうものが欲しい。

業務名称	第2回東御市環境市民会議		東御市
打合場所	東御市 東部クリーンセンター 2階会議室	打合日時	平成27年10月28日 13:30～15:15

■議事録

- 最近森が荒れている。獣（鹿、ハクビシン）による被害が出ている。動植物の保全とあるが、駆除という考えも持っていた方がいい。山の大切な木が被害にあうので、環境の保全の面でも考えられる。
- p28にミヤマシロチョウを入れたらどうか。県の蝶に指定されているし、絶滅危惧種でもあるし、長野県周辺にしかない。
- p29の湯の丸自然学習センターとあり、我々も活動しているが、皆様と連携して対応出来るシステムが欲しいので組織を設けられればいいと思う。
- ・市でも湯の丸を環境資源の場として自然体験の場として活用する計画があるので、ミヤマシロチョウ等の事も加筆する。
- 表紙の写真(食用油回収)の隣にペットボトルキャップを追加してほしい。市内の保育園、中学校、企業から協力してもらっているものなので、p38のてんぷら油のあたりにもペットボトルキャップについて記述してほしい。環境教育として保育園に行き活動している市民全体が協力している事例なので。
- ・記述する場所について検討する。
- 東御の森の看板について、東御と書いてあるということは利用できるのか。ため池のすぐ上から始まっていて、塩沢第一発電所があり、そこまでの距離が範囲。現在は荒れているので、どういった森にできるか、前述の色々な人に使える場所にした。
- 東御の森という表記でいいか。小さくわたみの森とも書いてある。
- ・各課に確認を取っている。わたみの事もあるのでもう一度確認を取る。
- わたみの中のグループ会社があり、森林再生事業をやっていてだれでも参加できる。色々な事業の人たちと協力してやっている。
- ・様々な活動があるということで、もう一度表記について確認する。
- p32本市の天然記念物の植物とあるが、p34の説明に[黒槐の木]諏訪神社境内にある～と記載されているのを、p32にも追記してもらいたい。
- p38ごみの減量について可燃ごみの総排出量の現状値、東御と北御牧の一日の表があるが、説明に550g、長野県は603gということで努力はしているとわかるが、今後川西からゴミが来ることによって分別方法が違っているということを数値目標にもあらわして欲しい。それに向けて具体的な努力を住民はしていくが、それをしっかり計画してもらいたい。
- p38長野県(603g)はこの前と違うがなぜ違うのか。
- ・廃棄物処理計画を同時にやっていて数値の整合性を図るために照合しているところで、確認を取る。数値については再確認させていただく。
- パブリックコメントはどんな媒体でやるのか。
- ・公民館やインターネットで行う。
- p50写真に自然体験教室とあるが、ここに写っている子は幼児なのでその説明を入れて欲しい。隣の写真には説明があるので。
- エネルギー自給率の表の発電所はどこか記載してほしい。
- エネルギー自給率の目標値を定めるにあたって、他の市町村の目標値と比較して高

業務名称	第2回東御市環境市民会議		東御市
打合場所	東御市 東部クリーンセンター 2階会議室	打合日時	平成27年10月28日 13:30～15:15
■議事録			
	<p>いとか低いとかはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自給率の定義は市町村によりばらばらなので難しい。また、域内に大きな発電所を抱えていればそれだけで数値が大きくなる。 <p style="text-align: right;">以上</p>		